41 PM Thu 23 Sep
NNA_IN_210922.pdf
4G 61%

ンターナショナル・インド会長兼社長）は、インドで事業拡大をしやくするために、ビジネス環境のさらなる改善を求めた。滝氏によると、デンソーはインドの９カ所に拠点を置き、6,000人を雇用している。

同氏は、電気自動車（ＥＶ）に焦点を当てて、カーボンニュートラル（炭素中立）な生産に取り組んでいる点を強調した。製造業での二酸化炭素の排出量ゼロを可能にし、車両の二酸化炭素排出を最小限に抑え、生産で発生する二酸化炭素を回収しエネルギーとして再利用することで、2035年までに同社の事業全体でカーボンニュートラルの達成を目指す。

一方、シャルマ氏はＦＩＣＣＩのセミナーで、サプライチェーン（調達・供給網）を再考する必要性に迫られていると話した。今こそインドが世界的な製造ハブとしての地位を確立するべき時だという。

ＦＩＣＣＩのディリップ・チェノイ事務局長は、インドは世界各国、特に東アジア諸国に費用対効果の高い方法で生産する絶好の機会を提供していると、ＰＬＩの意義を強調した。

付加価値引き上げ、部品生産が鍵

部品の生産に力を入れるべきだとの指摘も出た。中国のスマートフォンメーカー、ビーボ（ｖｉｖｏ、維沃移動通信）のインド法人で副社長（政府担当）を務めるアリジット・セン氏は、今後は組み立てだけでなく部品の製造に焦点を当てる必要があると繰り返し述べた。部品の生産により、インドの現地生産の付加価値が大幅に高くなる可能性があると主張する。

今後は組み立てだけでなく、部品の生産でどれだけ付加価値をつけることができるかが焦点になりそうだ。部品の現地生産化は中小企業という巨大なセグメントを巻き込む一助となり、環境に優しい製造技術の普及にもつながると考えられる。

【インド―製造】

ダイキアクシス、北部に浄化槽工場

浄化槽メーカー大手のダイキアクシス（松山市）は21日、インド北部ハリヤナ州に浄化槽の生産工場を新設すると発表した。稼働は来年６月を予定する。当初の年産能力は350台。インドで拡大する浄化槽の需要に対応するため、生産と販売を強化する。

工場はハリヤナ州パルワルの約１万6,000平方メートルの土地に建設する。用地取得の契約は締結済み。工場の年産能力は、最終的に600台まで引き上げる計画だ。

工場を新設するため、今年６月に首都ニューデリーに孫会社ダイキアクシス・エンバイロメントを設立した。資本金は２億4,000万ルピー（約３億5,700万円）。シンガポール子会社のダイキアクシス・シンガポールが100％出資する。

インドでは水処理関連のインフラである浄化槽の需要は伸びている。ダイキアクシスは、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けながらも、中央政府や州政府、教育機関と連携して市場の開拓を進めているという。

ダイキアクシスは2018年に西部ムンバイにも、浄化槽の製造・販売を行う孫会社を設立している。ムンバイの孫会社の名称はダイキアクシス・インディア。公式サイトによると資本金は２億6,500万ルピーで、20年12月期の売上高は4,700万円（１ルピー1.45円で換算）だった。

【インド―公益】

日立造船、マハ州初のごみ焼却発電所を受注

日立造船は21日、インド子会社の日立造船インディアがインドでごみ焼却発電プラントの建設を受注したと発表した。日立造船インディアによる同様のプラントの建設受注は３件目。西部マハラシュトラ州プネに、同州初となるごみ焼却発電所を建設する。

インドの重工業メーカー、ＩＳＧＥＣヘビー・エンジ

PHOTO NEWS

インド東部コルカタで大雨が降り、道路が冠水した＝21日（ＰＴＩ）

TAKE OFF

当地へ移り住むと決まったとき、さまざまな紅茶が飲めると期待したものだった。インドは有数の紅茶生産国だ。東部でとれる「ダージリンティー」は世界三大紅茶の一つに数えられる。

暮らしてみて、ひと味違う現実を知った。市民が利用する喫茶店では、多くの場合、メニューに紅茶はのっていない。人々が「ティー」として愛飲するのは、甘く煮出したミルクティーの「チャイ」であり、日本人が思い浮かべる「ブラックティー」はほぼ飲まれていない。

最近は、ケニアやネパールから輸入された安価な茶葉が当地の茶葉とミックスされ、インド産として販売されているという。知り合いのインド人は「まさかそんな」とショックな様子だ。その国の中にいなければ分からないこともあれば、その国の中にいてもなお知り得ないことがある。グローバル化の果てに、インドから紅茶大国のイメージが失われる未来だってあるかもしれない。（成）

Copyright(C) NNA All rights reserved. 記事の無断転載・複製・転送を禁じます